

【誓約書別紙】Jungle Gym - トランポリン&スポーツパーク- ルール及び注意事項

Jungle Gym（札幌店）はトランポリンをメインとした他運動遊具との複合運動施設です。これらの運動施設には潜在的に死亡も含む重大な事故に繋がる危険が常に伴います。以下の項目を全て理解した上で別紙誓約書にサインしてご利用いただく必要があります。

①施設利用のルール

- ◇心臓・疾患・高血圧の方など、運動によって事故に繋がる恐れのある方や、妊娠中の方、アルコール・薬物などの影響下にある方はご利用できません。
- ◇施設ご利用について、安全のため体重制限は110 kg以下とさせていただきます。
- ◇混雑時はどの設備・遊具も譲り合って順番にご利用いただくようお願いいたします。
- ◇必ず準備運動をしてからのご利用をお願いします。
- ◇貴重品の管理は各自でお願いいたします。紛失・盗難の責任は一切負いかねます。
- ◇場内は禁酒・禁煙です。
- ◇飲食は観覧エリアでお願いいたします。
- ◇撮影される場合はプライバシーの観点を理解して頂き、十分な配慮を行って下さい。
- ◇スタッフの指示に従わない、またはルール違反や他のお客様に迷惑がかかるような行為が認められた場合、施設利用を中止させて頂くことがあります。その場合でも、利用料金・登録料等の返金は出来ませんのでご了承下さい。

②18歳未満及び高校生の方のご利用

- ◇保護者が本人と連帯して責任を負うものとします。
- ◇小学生以下の方は下記の制限があります。
 - (小学生)
 - 保護者は必ずお子様の目の届く範囲にいて下さい。
 - 場内を走り回る・寝転ぶ・大声で叫ぶことの無いようにして下さい。
 - お子様の危険な行為等で苦情が発生した場合、ご利用を中止させて頂くことがあります。
 - (幼児)
 - 必ず保護者が一緒に入場して頂きます。お子様だけでのご利用はできません。
 - お子様から決して目を離さないで下さい。
 - (3歳未満)
 - 3歳未満の幼児様はご利用いただけません。

③服装

- ◇トランポリンベッド（黒い布部分）等の器具を傷つける恐れがありそうなベルト・バックル等は外してからジャンプして下さい。また、ポケットの中は空にして下さい。
- ◇ピアス・ネックレス等の装飾品や怪我の恐れのある物は外してからジャンプして下さい。
- ◇衛生上及び安全のため必ず靴下を履いて利用して下さい。すべり止め靴下を推奨しています。

④ トランポリン等の遊具について

- ◇原則トランポリン1面につき1人の使用です。
- ◇周りでジャンプしている他のお客様にも十分注意を払い譲り合ってジャンプして下さい。
- ◇他の人がジャンプしているトランポリンには絶対に入らないで下さい。非常に危険です。
- ◇移動する時はトランポリンパット中心のフレームの上を歩いて下さい。
- ◇ジャンプする時のみトランポリンに乗ってください。非常に危険ですので、トランポリン又はパット上で座ったり寝転がるのは禁止です。
- ◇ジャンプしない時は必ずトランポリンエリア外で休憩して下さい。
- ◇途中で体調が悪くなった時にはすぐにジャンプを中止して下さい。
- ◇何か落としても決してトランポリンの下に入らず、スタッフに知らせて下さい。
- ◇保護者がお子様の補助をする際等で、トランポリンに複数の人が乗る場合は高くジャンプしないで下さい。飛ばされて怪我をする恐れがあります。
- ◇宙返りは経験者以外は原則禁止です。骨折、頸椎損傷をはじめ宙返りによる全ての怪我や死亡事故は全て自己責任になります。
- ◇宙返り経験者以外で宙返りをする場合、自己の責任において、スポンジプールで行って下さい。
- ◇スポンジプールに飛び込む際は、必ず中に人がいないことを確認してから行って下さい。
- ◇スポンジプールの中に落とし物をした場合にはスタッフにお知らせ下さい。
- ◇大人の方はお子様がジャンプしているときはお子様優先でのご利用をお願いいたします。
- ◇その他各種器具・遊具をご利用の際は、必ず掲示してある注意事項を読んでからご利用下さい。
- ◇スタッフの指示には必ず従って下さい。従っていただけない場合、退場していただく場合があります。

⑤ 免責

- ◇施設利用中における、利用者が受けた損害に対しては、当施設の故意または過失がある場合を除き、当該損失に対する責任を負いません。
- ◇利用者同士の間で生じたトラブルについて、当施設の故意または過失がある場合を除き、一切関与せず、責任を負いません。
- ◇アドバイスや技の補助については、サービスの一環として行っておりますが、最終的な実施責任は実施者に帰属するものとし、当施設では責任を負いません。
- ◇当施設内にて怪我をした場合の処置は、スタッフ対応による悪化やトラブル防止の為に一切行いません。骨折などの重大事故については、近隣病院のご案内や救急車の要請を行います。